



地場工務店のための住宅の換気と雨仕舞い

第六回 最終回

神戸睦史 (株式会社ハウゼコ)

カンベ・ムツヒト：平成3年ハウスメーカーに就職し、鹿児島・大阪で勤務後、平成8年ハウゼコ入社、平成19年代表取締役社長、47歳。

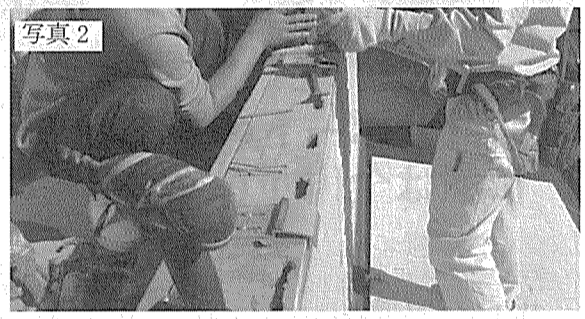
いよいよ今回で最終回となりました。1月5日号のD&Dでも特集を組んで頂きましたが、このたび一般社団法人住まいの屋根換気壁通気研究会を立ち上げ、4月からスタートする運びとなりました。この研究会では、今回のルーフバルコニーの問題に代表されるような、住宅外皮の小屋裏換気・壁通気・雨仕舞いを研究します。もしご興味がありましたら、一緒に勉強されませんか？詳細は、ハウゼコまでお問い合わせください！

それでは、本題に戻りまして、今までの流れを振り返ってみましょう。

- 1, 手すり壁上端部の通気層が開放系と閉塞系に分かれること
- 2, 保険のこと
- 3, 閉塞系納まりの問題点
- 4, 手すり壁上端の養生(納まり編)
- 5, 手すり壁上端の養生(材料編)
- 6, 手すり壁上端の笠木のかぶり厚
- 7, 手すり壁上端の施工の取り合い
- 8, 日本窯業外装材協会の納まり
- 9, 住宅金融支援機構の納まり
- 10, 試験体6の納まり
- 11, 試験体7と8の納まり
- 12, 試験体3アンタレスミニを使った納まり

以上12項目にわたってルーフバルコニーのチェックポイントを書かせていただきました。この12のポイントをおさえていただければ、お施主様からのルーフバルコニーへの質問は、全て答えられるようになります。

以前、北海道でルーフバルコニーをどのように処理しているのか？聞いて廻ったのですが、答えは作らないでした・・・モデルハウスを見て廻っても、ルーフバルコニーのあるモデルハウスを作っているメーカーは、全て本土から来たメーカーばかりでした。ルーフバルコニーばい意匠を作りたいときは、下階に部屋を作っていませんでした。このことは、私が以前住んでいた鹿児島にも同じようなことが言えます。日本列島のはしっここの地域は気象条件が厳しく、耐久性の問題を施主に説明すれば、納得してその意匠や間取りをあきらめてくれる場合が多くあります。しかし、問題は私が現在住んでいる大阪の様な中途半端な地域です。結露リスクが低いとかいえば、結構高い地域も多くあります。しかしながらお施主様にはそのようなことは通じないし、都市圏ほどデザイン意識の高い消費者が多く、意匠を犠牲にすることに妥協しません。かといって、その地域の地場工務店の耐久性に対する意識も低く、競合すると造らざるを得なくなります。そのような時にアンタレスミニの様な、雨仕舞いと換気・通気の両立できる専用部材をお使いいただきたいのです。



それでは、少し実際のルーフバルコニーの結露事例でケーススタディをしたいと思います。この物件=写真1=は、お施主様が結露を雨漏りと勘違いして、工務店に相談に行った所から始まります。一般的に結露と雨漏りを区別するのが難しいケースが多く、雨漏りして浸入した水分が結露の原因になっているケースもあります。お施主様が、内装はクロスの継ぎ目の浮き、外装はサイディングの色落ち・白化、バルコニー飾り開口部下挿り隅部からの汚れが気になり工務店に相談しました。工務店でも原因が良くわからず、サイディング工事業者に相談しました。

工事業者の職人さんがルーフバルコニーの手すり壁天端のサイディングに穴を開けたところ、熱風と異臭が上がってきて結露と判明しました。この案件をモデルケースにして、各試験体の納まりで検証してみましょう。試験体1は、この納まりと同一なので、結露リスクがとも高いです。試験体2は1に比べると少しは通気するので結露量は減少した可能性はありますが、それでも結露リスクと天端の劣化リスクは残ります。試験体3のアンタレスミニを設置していれば、結露リスクは無く、手すり壁天端も傷めないで漏水リスクも低くなります。試験体4は、シールが切れるまではもちますが、異素材の熱収縮量の違いからシーリング切れのリスクがあり、裏からの廻り込みリスクも残ります。試験体5は横胴ぶちなので、雨水の浸入と通気阻害と中途半端に両方のリスクが残ります。試験体6、7、8は、開放系なので雨水の浸入のため、サッシ上端からの漏水リスクが高くなります。この物件も、南側にサッシが連続して配置されています。ルーフバルコニーの設置場所は日当たりの良い南側が圧倒的に多くなります。すると、この様に掃き出し窓が連続設置されるケースが多く、手すり壁天端から浸入した雨水が逃げ場を失い、漏水リスクが高くなるのです。このように、実際の建物でケーススタディをするとわかりやすいと思えます。

今回はルーフバルコニーに絞ってお話を進めてきましたが、パラペットを立ち上げたキューブ型住宅も同じようなことが言えます。少し注意ポイントは変わってきますが・・・もし詳細をお知りになられた方は、ハウゼコまでお気軽にご連絡ください。無料出張セミナー等させていただきます。

それでは、今までお付き合い頂きありがとうございました。私たちは、製品を提供するのではなく、ソリューションを提供できる企業を目指しています。これからも一般社団法人屋根換気壁通気研究会の活動を通して得た知見を基に、より良い製品作りを目指していきたいと思えます。内製化率99%、ほとんど外注に頼ることなく国内生産しています。研究と製造を高度に融合させ、革新的な製品を提供し続けられるよう努力していきます。これからもよろしく願いいたします。ありがとうございました。

【試験体1】

通気の出口は裏貼りサイディングにより閉塞

【試験体2】

通気の出口はプルシートにより閉塞

【試験体3】 (アンタレスミニ仕様)

通気の出口に通気部材を設置

【試験体4】 (日本窯業外装材協会(NYG)仕様)

通気の出口はシーリング

【試験体5】 (住宅金融支援機構仕様)

通気の出口はバルコニー側も外側も解放

【試験体6】

通気の出口はバルコニー側も外側も解放

【試験体7】

通気の出口はバルコニー側も外側も解放

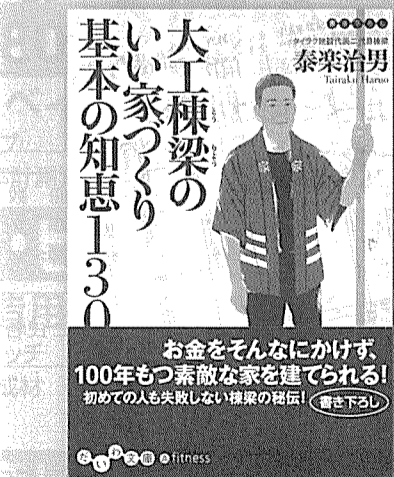
【試験体8】

通気の出口はバルコニー側も外側も解放

お申し込みは

(株)日本住宅新聞社
 管理部 書籍販売担当 行
 TEL 03-3823-2511
 FAX 03-3823-2566

冊数	冊
御社名	
ご氏名	
ご住所	
TEL	
FAX	
E-mail	



知恵の一部を抜粋 (目次より)

大工棟梁の基本

- ・尺杖を駆使できる大工が本来の大工
- ・大工は図板を書けてこそ...
- ・大工の腕が落ちたというのは迷信

お施主さんのために

- ・大工とつくる家への道筋
- ・木の説明ができる人を選ぶ
- ・ちょっとした手抜きをしっかりと見抜く

現役棟梁 入魂の一冊
大工棟梁のあるべき姿と施主のための知識が満載

大工棟梁のいい家づくりの基本的知恵130

タイラク建設代表
泰楽 治男 著
 定価780円
 (税込・送料別)